

平成28年版長野県環境白書の発刊に当たって

私たちが暮らす長野県は、雄大な山岳、豊かな森林や清らかな水など、四季の変化に富んだ全国でも有数の美しい自然に恵まれています。この美しい自然や豊かな生態系は、私たち長野県民の貴重な財産であり、この環境を将来の世代に引き継いでいくことは、現在を生きる私たちに課せられた責務です。

私たちを取り巻く環境問題は、水・大気環境の保全や資源の循環利用などの身近なところから、地球温暖化の進行や生態系の変化など地球規模にまで広がりを見せています。このような問題は、社会の様々な分野の事業活動や私たちの日々の暮らしと密接に関連しており、一人ひとりが将来を見据えた取組を進めていくことが不可欠となります。

このため、県では、「参加と連携で築く 豊かな環境・持続可能な信州」を基本テーマとした「第三次長野県環境基本計画」を平成25年2月に策定し、行政はもとより、県民・事業者・関係団体などあらゆる主体の皆様との参加と連携によって、信州の美しい自然を守り、持続可能な信州を目指すこととしました。

この計画では、循環型社会の構築、自然環境の保全と利用など従前からの課題に加え、全国的なエネルギー需給問題や水資源の保全に対する懸念、放射能への対応など新たな課題への対応についても盛り込み、本県の環境政策を推進しています。

平成28年版長野県環境白書は、こうした県内環境の状況や環境に対する取組などを明らかにするために作成したものです。県民の皆様を始め、多くの方々に御覧いただき、長野県の環境について理解と関心を高めていただくとともに、様々な環境保全の取組を進める上での参考としていただければ幸いです。

平成29年3月

長野県環境部長 関 昇一郎